



卯辰の事

申 丁酉 壬子



まの田を伴

多る者

一物



カ

木の子 少 勅 野

山

いよきり



一
カ
リ
の
冬

木の子 少 勅 野

山

いよきり

木の子 少 勅 野



下つたもの法衣

はらうふ

中野の法衣

の
し
せ



ぬくとし

あこし
西の

物
り
す

法衣



初

子

年

の



年

一

活

て

鳥



軍河書法年

光

初

五下



鳥山

年

十

山



初 着 目 上

初 着 目 上

の 報 の

第 一

作 水



初 着 目 上

初 着 目 上

小 治 政

の 紀

の 一 冊



うつめ

正にけり

柳の芽繁し

春風



字世

湖文は

年々

か

の

人



寛政三ノ筆

たのしき事

成りし事

千一



神木

海一

か
の
心

神木



春の結

いと味

片毛糸

清水



心なほ

上り

雪松

深更



主之掃て爪足

酒力

身乃身

甚矣



好海心なる唇

新者分

佳也



初九日

月一日

書

〇〇



丁未年

月一日

書



此
一
祝

乙酉年
十一月

一
記



此
一
記

乙酉年
十一月

一
記



有
何
の
心
を
な
す
か
ら
ん
か
ら
ん
か
ら
ん

何
水





性
静
一
古
究



耕
一



功
風
の
日
の
空
の
地

つら



口
の
し
ら
べ
の
つ
ら
さ
る

東
の
五
郎
年
子
氏

妻
の
後
大
平
江
清
氏

七
折
の
と
ん
ね
る
こ
と
と

白
鳥
の
こ
と
と
る
こ
と
と
る

る
こ
と
と
る
こ
と
と
る

今更の疑はうたの
つせめぶうの末に
おんまかみかた

